様式第１－２号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　　月　　日

公益財団法人　北九州産業学術推進機構

理事長　松永　守央　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　（申請者）

【提案者（代表）】

所在地

企業・団体名

代表者（役職・氏名）

コンソーシアム名（※１）

連絡担当者

E-MAIL

電話番号

※１　提案事業をコンソーシアムで行う場合に記述

事業計画書兼交付申請書

　北九州産業学術推進機構　ＤＸ推進補助金（生産性向上・付加価値創出枠、事業変革枠（※））の交付を受けたいので、次のとおり補助事業計画を提出（事業にかかる経費、補助金交付申請額等は別途申請フォームで申請）します。

（※）申請する枠に〇をつけて下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 事業概要 |  |
| これまでのＤＸ推進の取組み |  |
| 全体計画 | ＤＸにより目指す姿 |  |
| 目指す姿に対する現状 |  |
| 目指す姿に対する課題 |  |
| 課題を踏まえたＤＸ計画 |  |
| 今年度の取組み | 取組内容 |  |
| 期待される効果 |  |
| 推進体制 | ※推進責任者、経営者の関与、関係部署の関与など |  |

* 書ききれない場合は、複数の用紙に記載すること。
* 適宜、図や表を用いてわかりすく記載すること。

【審査基準】

　［業務効率化・生産性向上枠及び事業変革枠における審査基準］

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 審　査　基　準 |
| これまでの取組み | これまでどのようなＤＸの取組みを行ってきたか。 |
| 全体計画 | ＤＸにより企業が目指す姿・成長計画の意欲・可能性生産性向上や新たな付加価値創出の可能性（売上・利益・雇用創出にどのように繋がるのか） |
| 目指す姿に対する現状認識・課題の妥当性 |
| 現状認識・課題を踏まえたＤＸ計画の具体性・妥当性・実現性自社が置かれる厳しい現実を直視し、勢いをつけるために何をすべきか明確に把握しているか。 |
| 今年度の取組み | 全体計画を踏まえた今年度の取組みの適格性・妥当性・実現性 |
| 今年度の取組みとして期待される効果 |
| 推進体制 | 経営者の関与（プレゼンテーションへの関与など）・リーダーシップ、推進体制の適格性・実現性 |
| 将来的な人材の確保・育成に向けた計画策定の有無 |
| 目指す姿に沿った社内制度（昇進制度や成果（財務）指標見える化など）を確立しているか。 |

コンソーシアム構成員（コンソーシアムの場合のみ記載）

|  |
| --- |
| コンソーシアム構成員（コンソーシアムの場合のみ、コンソーシアム構成員を記載） |
| 企業名（本店都道府県・市町村） | 代表者 役職・氏名 | 本件での役割と適性根拠 |
| 本件担当者 役職・氏名 |
|  |  |  |
|  |
|  |  |  |
|  |